

そう だい やくそく かみ えいえん けいやく
総 題 「約束 神の永遠の契約」

だい に か けいやく しょほてきまな
第2課 契約についての初歩的学び

ただ たけだ まさや
武田 将弥

いち あんそくにち ご ご
1. 安息日午後

こんしゅう けいやく きほんてき まな けいやく い み せいしつ ようそ
今週は「契約」について基本的なことを学びます。契約とはどういう意味や性質をもち、どんな要素
ふく が含まれているのかななどを、ノア、アブラハム、そしてシナイで与えられたモーセの契約を例に、どんな希望
きぼう を見つけることができるのかを学びましょう。

に にちようび けいやく き そ
2. 日曜日：契約の基礎

へぶらいご ことば にほんご せいしよ けいやく ほんやく ほか せいやく
ヘブライ語の「ベリート」という言葉は、日本語の聖書では「契約」と翻訳されています。他にも「誓約」
ゆいごん ほんやく ほんらい い み ふたり ひと むす あ けつごう
とか「遺言」とも翻訳できるそうですが、本来の意味は「2人が1つに結び合わされること（結合）」で
す。

けつごう い み も ことば だんじょ けつこん つか にんげんどうし かみさま にんげん
結合という意味を持つ言葉「ベリート」は、男女の結婚にも使われますし、人間同士、神様と人間と
かんけい ふつう つか ことば じだい すす かみさま にんげん あいだ
の関係にも普通に使われていた言葉だったのですが、時代が進むにつれて、だんだん神様と人間との間
つか しゅうきょうてき い み つよ も ことば
に使われる宗教的な意味を強く持った言葉になっていきました。

けいやく むす に しゃ あいだ まも やくそく う かみさま にんげん けいやく むす なが
契約を結ぶと、2者の間には守るべき約束が生まれます。神様と人間が契約を結んだときの流れを
かくにん
確認してみましょう。

- いち かみさま にんげん けいやく やくそく ちか
(1) 神様は人間との契約にともなって「約束」を誓われました。
- に にんげんがわ けいやく じっかい かみさま い し したが ぎ む う
(2) 人間側は契約をしたので、十戒にある神様のご意思に従う「義務」が生まれました。
- さん かみさまがわ けいやく とお つみ あがな は
(3) 神様側は契約をしたので、キリストを通して罪の贖いを果たされました。

さん げつようび けいやく
3. 月曜日：ノアとの契約

「わたしはあなたと契約を立てる。あなたは妻子や嫁たちと箱舟に入りなさい（創世記6：18）」
せいいく けいやく ことば で じだい よ なか ひじょう わる じょうたい
この聖句ではすぐに「契約」という言葉が出てきています。ノアの時代は世の中が非常に悪い状態であ
り、どんどん罪が広がり続けたので地上が滅びることになりました。しかし神様は人間が救われる可能性

あた けいやくかんけい むす かみさま ほう ちか
を与えるために、ノアに契約関係を結ぼうと神様の方から近づいてきてくださいました。

よん かようび けいやく 4. 火曜日：アブラムの契約

かみさま おお しゅくふく やくそく けいやく う こきょう はな
アブラムは神様から大いなる祝福の約束をいただきます。しかしその契約には「生まれ故郷を離れて、
かみさま しめ とち い じょうけん つ かみさま せつめい ゆ さき
神様が示す土地に行きなさい。」という条件が附いていました。神様の説明には行き先も、どれくらいの
なが たび おし かみさま つ こころ まよ
長さの旅になるかも教えられていなかったのも、神様から告げられたときアブラムの心は迷ったかもしれ
ません。しかしアブラムは神様の言葉に従って、生まれ故郷を離れました。その理由は神様からの祝福
かみさま ことば したが う こきょう はな りゆう かみさま しゅくふく
が欲しいから出発したのではなく、愛する神様からの言葉だったから出発することにしたのです。

かみさま やくそく まも かみさま けいやく したが しゅくふく あた やくそく
アブラムは神様との約束を守りました。だから神様も契約に従って、アブラムに祝福を与える約束
は
を果たしてくださいました。

ご すいようび けいやく 5. 水曜日：モーセとの契約

どれい くる たみ しゅつ どれい かいほう のち
かつて奴隷として苦しんでいたイスラエルの民は、出エジプトによって奴隷から解放された後、モーセ
とお ざん けいやく う けいやく かみさま めぐ なが じゅんばん ちゅうもく
を通してシナイ山で契約を受けましたが、この契約は神様からの恵みでした。流れの順番に注目して
みましょう。

いち かみさま すく に まも りっぼう かみさま あた
(1) 神様がまずイスラエルを救われた。(2) それから守るべき律法を神様はお与えになる。

ふくいん おな さま つみ やまい くる ひと ちか すく
これは福音についても同じです。イエス様は罪や病で苦しんでいる人に近づいて行って、まず救われ
ました。そして次に「私に従ってきなさい」と言われたのです。この順番はいつも同じなのです。

ろく もくようび あたら けいやく さんじゅういち さんじゅういち さんじゅうさん 6. 木曜日：新しい契約 (エレ 3 1 : 3 1 ~ 3 3)

かみさま にんげん すば めぐ けいやく ていあん にんげん けいやく むす やくそく
神様は人間のために素晴らしい恵みの契約を提案してくださり、人間は契約を結びますが、約束を
やぶ にんげん ほう たび かみさま かな かみさま たび ゆる
破るのはいつも人間の方です。その度に神様を悲しませてしまいますが、神様はその度に許してくださ
り、人間は主の恵みによって、再び愛の関係に入っていくのです。

なな きんようび けんきゅう 7. 金曜日：さらなる研究

さま ちじょう やくそく は う あゆ じんせい
イエス様はこの地上へ、約束を果たすためにお生まれになりました。キリストの歩まれた人生は、いつ
かみさま たい あい つみ くる ひと すく あい
も神様に対する愛と、罪で苦しんでいる人々を救おうとする愛そのものでした。だからどんな苦難が襲
ってきても、それを受けて死なれました。相手との約束を守り通すために大事なものは、その相手に対する
あい たっせい さま じぶん もはん しめ おな じんせい あゆ
愛がないと達成できません。イエス様は自分が模範を示されたので、わたしたちにも同じように人生を歩
もと
むよう求めておられます。

★^ふ返^{かえ}りの^{しづもん}質^{しづもん}問★

エレミヤ書^{しよさんじゅういち} 3^{さんじゅういち} 1^{さんじゅうよん} : 3^{さんじゅうよん} 1^{さんじゅうよん} ~ 3^{さんじゅうよん} 4^{さんじゅうよん} に「わ^{りつぽう}た^{さず}しの^{さず}律^{さず}法^{さず}を^{さず}授^{さず}けて、あ^{こころ}なた^かの^か心^{しる}に^{しる}書^{しる}き^{しる}記^{しる}す」とあり
ますが、あ^りなた^{かい}は^{かい}こ^{かんが}れ^{はな}を^あど^あの^あよ^あう^あに^あ理^あ解^あし^あま^あす^あか^あ? 考^あえ^あた^あこ^あと^あを^あ話^あし^あ合^あっ^あて^あみ^あま^あし^あよ^あう。